平成25年度一般会計 決算審議
私たちの税金はこう使われた！

中央公民館 耐震対策 終了

公民館施設耐震対策費　1億5398万7千円

中央公民館の耐震改修を実施し、新たにエレベーターを設置

地域交流施設 平成27年度の完成を目指す

武豊町地域交流施設整備事業費　4億574万円

地域交流施設の用地買収と多目的広場・南側駐車場の整備、エコステーション・トイレを設置

9月定例会

9月定例会は、9月2日から24日までの23日間の会期で開催しました。

平成26年度一般会計補正予算をはじめ、地域型保育事業の整備および運営に関する基準を定める条例の制定など10議案と、平成25年度一般会計決算および特別会計決算の認定など7件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では、14人の議員が町政の問題をただしました。

議案質疑

緊急時に備えを 備蓄食料

問 現在、備蓄できている食料は、何人分か。目標個数を達成できているのか。

答 平成15年に愛知県が公表した武豊町における避難所生活者数3900人を、目標人数として備蓄を行っ

富貴中学校トイレ改修工事費 7140万8千円

富貴中学校北館の東西1～3階のトイレ改修工事を実施

中学校普通教室扇風機設置工事費 851万3千円

武豊中学校と富貴中学校の普通教室（40教室）に各4台扇風機を設置

知多武豊駅東土地区画整理事業費　1億4130万3千円

知多武豊駅東の調査設計委託と用地買収（土地開発公社買戻し分）を実施

武豊港線道路改良工事費　2464万3千円

野菜茶業研究所の道路南側に歩道を設置

地域交通事業費（コミュニティバス）　2005万9千円

コミュニティバス・乗合タクシーの運行を実施

災害用備蓄食糧費　251万4千円

備蓄用食料として保存年限の切れるアルファ米、缶入りパンなどを買い替え、買い増しを実施

同報系戸別受信機（防災ラジオ）　404万3千円

アナログの戸別受信機が製造中止になったため、デジタルの防災ラジオを1台1500円で販売

ている。

これまで、備蓄数量は、2食2日分の156００食であったが、更なる防災力強化のため、平成24年度から5年間かけ、備蓄数量を3食3日分の351００食に増加させることにした。平成28年度には、目標数量を備蓄できることになる。

安全で安心して暮らせるまちづくり

問 防災ラジオはすべて完売したのか。また、今後の販売予定は。

答 防災ラジオの販売は、10月15日の販売から約1週間で5００台すべて完売した。

12月議会において、5００台分を追加する補正予算を計上した。

追加発注した5００台は、納品を完了し、現在も販売中である。残りは9月5日現在96台である。

平成25年度決算 歳出総額 209億2497万円

■平成25年度決算の概要（四捨五入により、差引額・合計が実際の決算額と異なる場合があります）

会計名		歳入（収入）	歳出（支出）	差引額
一般会計		127億3793万円	120億9379万円	6億4414万円
特別会計	国民健康保険事業特別会計	42億9509万円	39億9592万円	2億9917万円
	後期高齢者医療特別会計	3億5751万円	3億5694万円	57万円
	介護保険事業特別会計	21億8902万円	21億3199万円	5703万円
	農業集落排水事業特別会計	6129万円	6129万円	0
	下水道事業特別会計	12億4573万円	12億4573万円	0
合計		208億8656万円	198億8565万円	10億91万円
水道事業会計	収益的収支 ＊1	7億100万円	7億6万円	94万円
	資本的収支 ＊2	4979万円	3億3926万円	▲2億8947万円 ＊3

＊1　収益的収支…経営に伴い発生が予想される収入と費用
＊2　資本的収支…将来に備えて行う建設改良などの支出とその財源となる収入
＊3　不足分は、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金（積立金）などで補てん

■平成26年度普通交付税算定結果

基準財政収入額（A）	58億4978万円
基準財政需要額（B）	59億781万円
差（交付基準額）（C）＝（B）－（A）	5803万円
財政力指数（E）＝（A）／（B）	0.99
普通交付税額	5335万円

＊地方公共団体の標準的な財政需要（基準財政需要額）が、地方税など標準的な財政収入（基準財政収入額）を超える場合に普通交付税が交付される。

■まちの貯金と借金

会計名	貯金（基金）	借金（公債）
一般会計	28億2300万円	65億9907万円
特別会計（その他）	11億4828万円	92億2105万円
合計 （　）は平成24年度	39億7128万円 （37億3349万円）	158億2012万円 （163億2175万円）
町民一人あたりの金額 人口42,750人（9月1日現在）	約9万3千円	約37万円

平成25年度決算報告

一般会計は、歳入が127億3793万円、歳出が120億9379万円で、差引き6億4414万円の形式収支となりました。このうち、翌年度へ繰り越すべき財源が、962万円ありますので、実質収支は6億3451万円の黒字となり、財政調整基金（貯金）に積み立てました。

国民健康保険事業特別会計は、歳入が42億9509万円、歳出が39億9592万円で、差引き2億9917万円です。翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支は同額となります。

後期高齢者医療特別会計は、歳入が3億5751万円、歳出が3億5694万円で、差引き57万円です。翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支は同額となります。

介護保険事業特別会計は、歳入が21億8902万円、歳出が21億3199万円で、差引き5703万円です。翌年度へ繰り越すべき財源はありませんので、実質収支は同額となります。

農業集落排水事業特別会計は、歳入歳出ともに6129万円です。これは、歳入において一般会計からの繰入金5259万円により調整しました。

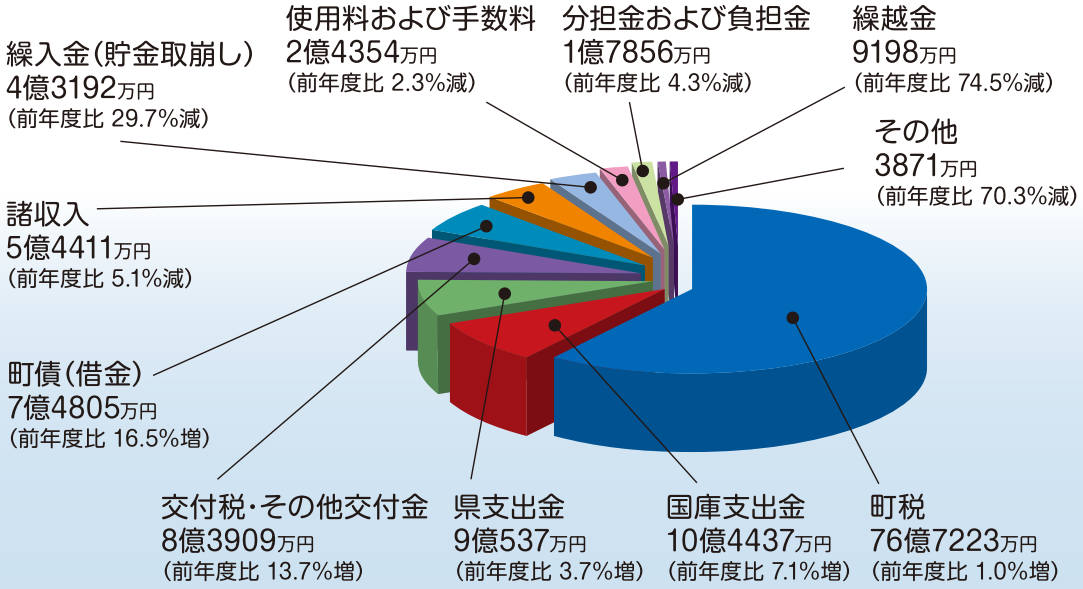
下水道事業特別会計は、歳入歳出ともに12億4573万円です。これは、歳入において一般会計からの繰入金8億3184万円により調整しました。

水道事業会計は、収益的収入額が7億100万円、支出額が7億6万円で、差引き94万円です。この額から消費税を差引きますと、1150万円の当年度純損失となりました。

一方、資本的収入額は、4979万円、支出額は3億3926万円で、差引き2億8947万円の不足となり、「過年度分損益勘定留保資金（積立金）」などで補てんしています。

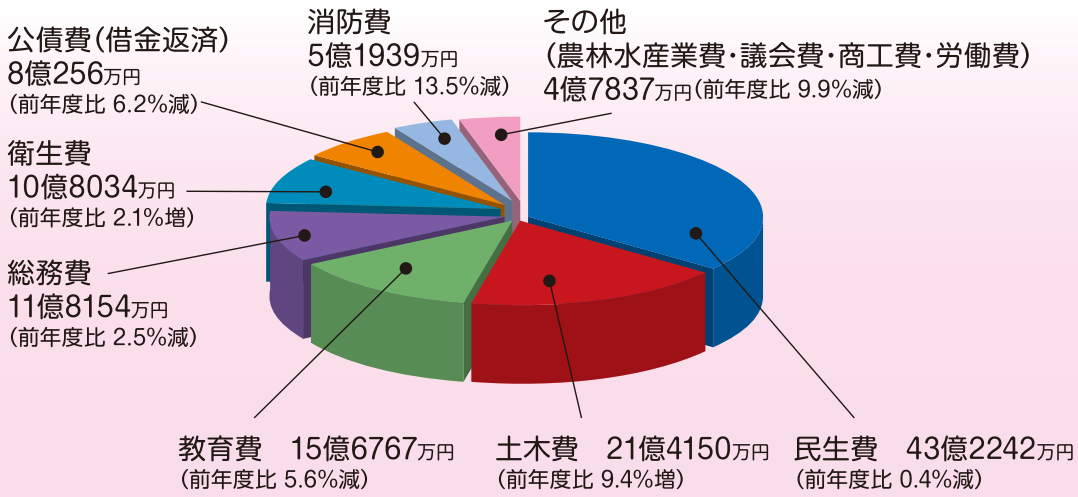
平成25年度一般会計の内訳

歳入<財源>127億3793万円



- 町　　税 → 町民税、固定資産税、法人町民税など
- 国庫支出金 → 福祉、教育、医療、子育て、道路整備など
- 県 支 出 金 → 福祉、教育、医療、子育て、環境対策など
- 交付税・その他交付金 → 地方交付税、地方消費税交付金など
- 町　　債 → 町の借金
- 諸　収　入 → 町税延滞金、検診料、講座参加料など
- 繰　入　金 → 町の貯金取崩し
- 使用料および手数料 → 保育園、各施設使用料、諸証明手数料など
- 分担金および負担金 → 保育所運営費保護者負担金など

歳出<使いみち>120億9379万円



- 民　生　費 → 高齢者、子どもの福祉など
- 土　木　費 → 道路、公園整備など
- 教　育　費 → 小中学校、町民会館など
- 総　務　費 → 役場庁舎整備など
- 衛　生　費 → ゴミ処理、病気予防など
- 公　債　費 → 借金返済
- 消　防　費 → 消防、防火水槽整備など